

(株)フクナガエンジニアリングがお届けする環境ビジネス情報誌



[e-PHOTO STORY vol.2:ひまわりのある風景]

“ひまわりおじさん”こと荒井勲さん(NPO法人ひまわりの夢企画代表)は、「瓦礫の街にひまわりを」と阪神大震災で種や苗を配ったことをきっかけに、その後、中越地震、中越沖地震、昨年の岩手・宮城内陸地震の被災地でも支援活動が続いているそうです。被災地だけでなく、被災した人々の心にも写真のような大輪のひまわりが咲くことでしょう。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

フクナガが関わる業界の動きをチェック!

業界エコトレンド

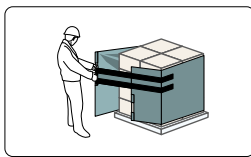


▶ 今回のテーマ 着々と浸透する「包装」のエコ

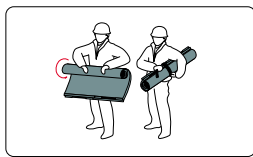
フレコンを含め、様々な“包装”の業界にもエコが広がっています。今回は特にメディアでも話題になっているニュースをご紹介します!



PPフィルムの代替品である荷崩れ防止「エコビズベルト」



ベルトを巻くだけで簡単に装着できる



繰り返し使用でき、量めば場所をとらない

パレットの上にエコ資材あり! 【エコビズベルト／エコビズ株式会社】

コスト削減とエコを両立させた画期的な荷崩れ防止ベルト

パレットで荷物を運ぶ時の荷崩れ防止フィルム
の代替品が注目を集めています。この「エコビズベルト」は使用済みペットボトルの再生原料で製造、繰り返し使用でき、耐用期間後は回収して再びポリエステル製品へと生まれ変わります。さらにベルト製造時に排出されるCO₂相当分を相殺できるよう排出権を付けた「カーボンオフセット」(準備中)もあるため、とことんエコ。さて、使いやささという点、ベルト自体はフィルムと同じように巻いて留めるだけで取り外しも楽にできるのに、強度もしっかりあるため、業界にすぐに浸透したようです。フィルムの廃棄量を減らすことができ、もちろんコストも削減できるのだから、ゆりかごから墓場まで、一貫して環境にやさしい製造で、物流における環境負荷低減に貢献しています。

原料はお米! 脱石油のゴミ袋

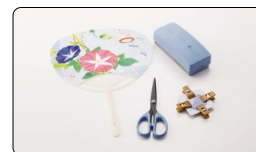
【BTペレット／株式会社バイオマステクノロジー】



実際に新潟県の自治体で導入されているお米原料のゴミ袋



「BTペレット」。これを原料に製品を作る



その他プラスチック成型品もお米原料で製造

資源米を使ったバイオマス袋が 野外フェスや自治体で活躍中

地球温暖化の防止策として、石油の代替

原料のバイオマス(生物由来) エネルギーが世界各国で製造されるようになったのは記憶に新しいところですが、ゴミ袋などに使われるプラスチック原料を、食卓でお馴染みのお米を使った原料にできないかと考えたのが同社です。非食用の「資源米」で作られた原料「BTペレット」を一部加えたゴミ袋では、通常のプラスチック製の袋と比べてCO₂を大幅に削減することができます。原料自体はプラスチック原料よりも低コストで、安定供給ができる段階まで品質を高めたそう。すでに、環境へ配慮した野外フェスや新潟県の自治体で採用されています。今後はあなたの地域のゴミ袋も、お米が原料のゴミ袋に変わっていくかもしれません。

フクナガのエコビズTOPIC

今回の特集に関連したフクナガの最新エコ情報をご紹介します!

ソフトバッグ事業部では、商品の「製造」「製品」「リサイクル」の3つの視点からより良い環境対応を追究していきます。例えば「製造時の無駄なエネルギー消費はないか?」「ワンウェイではなくツーウェイバッグにできないか?」「単一素材であればリサイクルしやすいのでは?」など、多角的に見た商品設計から始めています。



これはみなさんのご意見、ご協力が必要です。是非ともお力添えをよろしくお願いいたします。

乾見一郎(いぬい・こういちろう)

センセイからズバリ物申す!

業界を知る先生にエコトレンドについて伺いました

荷崩れ防止に昔から使われていたストレッチフィルムは、使用後は大変かさばり、廃棄効率もよくありませんでした。エコビズベルトのようなバンドは単純に使い回しができるだけでなく、再生原料からできていることや、使用後のリサイクルのことまでよく考えられていると思います。またゴミ袋のほうも、今までに考えつかなかった原料から製造されてい

て、現在のエコ商品の環境対応レベルがますます向上しているように感じます。今後も包装業界でのエコが進むのではないのでしょうか?

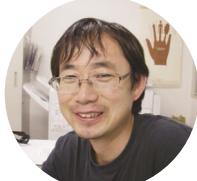
片岡士郎(かたおか・しろう)先生



長年に渡って包装業界に携わり、様々な包装や梱包に関する情報を収集。現在は包装関連業界紙のジャーナリストを務める。

エコソフトタイヤ事業部 団結力ナンバー1チームの成長の秘訣は「現場」！

マイエコ紹介



白文三 (はくぶんさん)

始めています、エコな習慣をお風呂でも

調達担当の白です。私のエコな習慣はおもに風呂場での省エネと水の節約です。シャワーする時に温度設定を少し低くしたり、シャンプーを使う時はこまめに水を止めたりしています。最初は自分だけでしたが、今では家族みんなでするようにになりました。この習慣は環

境にやさしいだけではなく、生活費の節約にもつながると最近気がついたので、今後も続けたいと思います。

マイエコ発見 50 パソコンやテレビの電源の付けっぱなしを止める時があるから、これからも改善の余地あります。



しては、現場作業や事務作業といった分け方ではありません。悩んでもわからないことは現場でやってみよう！という現場重視の考えのもと、日々確実に成長してはいます。

今回は団結力ナンバー1のエコソフトタイヤ事業部をご紹介します。フォークリフトなどの産業用車輦向けにパンクしないタイヤを販売しており、注文受付、営業活動、製品開発、品質管理と業務内容は盛りだくさん。そんな中でも笑いは忘れず、部内はいつも団結ムードです。スタッフごとの仕事内容はわかれています。現場作業や事務作業といった分け方では

マイエコ紹介

アイドリングストップで心もリラックス

こんにちは、営業担当の仲地です。僕が心掛けているエコはアイドリングストップですね。バイクに乗るのが好きなので、色んなところを走るのですが、街中の長い信号待ちなどでは、ママにエンジンを切るようにしています。これは排ガスを抑えられるとともに、エンジン音が消えて静かに

なった空間は高ぶった心を落ち着かせ、不思議と次に走り出すときはあまりスピードを出さず安全に走れるという、心の抑制効果もあるんです。

マイエコ発見 50 家でもゴミの分別を頑張ってますがまだまだです。今後はペラダ緑化に挑戦してみたいです。



仲地英教 (なかぢひでのり)

マイエコ紹介



土田耕司 (つちだこうじ)

大切な人が幸せに生きていくためには？を考えます

部長の土田です。ちょっとずれてるかもしれませんが、「環境保護の目的」って考えてみると、いま、エコって言葉がかなり一人歩きしてるような気がします。私のエコは、大切な人がずっとずっと、この地球で、幸せに生きていくためにどうすればいいか？！を考え、先ずは小さなこと

から始めようかと。えっと、長年止めるのに苦労した禁煙で、最近CO2排出しなくなりました！で、私自身もあと50年生きてみようかな。

マイエコ発見 40 左記の内容は全く個人的で申し訳ありません！小さな事の積み重ねでこれらががんばります！



教えて！FECO KIDS 

キッズも楽しめるエコ情報をお届け。家族でレッツトライ！

Q パークレンジャーってどんな戦隊？



ホームページでは地域別に活動を検索できるので、色んなイベントを見てみて！

調べてみよう！子どもパークレンジャー活動

国立公園ごとの活動の詳しい情報は下記URLをチェック！
<http://www.env.go.jp/kids/gokan/jpr/index.html>



本ではわからない動植物に触れるチャンス！私は海岸公園でウミウシに触ったことが感動でした！

長谷川真紀 (はせがわまき)

日 本各地にある国立公園を守る自然保護のこのとを「パークレンジャー」といいます。自然を守る仕事ってカッコいいですね。そんな仕事を体験できるのが「子どもパークレンジャー」。同名ホームページによると、地域にあわせた自然保護活動を

するので、山の植物を観察したり、湖の調査をしたりと、その場所での体験できない内容になっています。この体験に参加すれば、遊びながら自然と触れ合えるだけでなく、夏休みの研究もできちゃったり！近くの国立公園でぜひ体験してみてください！

海外エコロジー最新事情 

フクナガの海外スタッフがお国のエコ情報をレポート！

今回は... **中国編**



排ガス規制のマーク。基準を満たした緑マークもさらに3つ星でランクが分かれています。



車でマークを貼るのはフロントガラスと決められています。



このバスは「水素燃料を使用」と表示。大型車は規制が厳しい！

マークは各地でデザインが違います。その都市の形やシンボル、有名な建物が描かれたものもありますよ。



李琦 (りき)

中国では車の排ガス規制に取り組んでいます。基準を満たしていない車には「黄マーク」、満たす車には「緑マーク」を貼り、都市を中心に全国で通行を規制中。さらに、排気量の少ない小型車が売れるように自動車税も新たに導入し、今後は排出基準を満たしていない車は処分されるとのこと。日本も中国も車市場のエコ化がどんどん加速しそうですね！

フクナガなんでもNEWS

暑い夏を乗り切りたい!フクナガの猛暑対策

社内の冷房温度は28度設定!作業現場は冷房できない!
という厳しい環境のなか、小さな工夫で暑さ対策をしています。



社内では、冷房を広く循環させるため、エアコンにファンを装着しました(写真1)。効果は…分散されて良い(?)とのことでまずまずです。背の高いN氏が個人で持ってきたのは小型扇風機です(写真2)。冷房28度に保ちつつ、扇風機で涼んでおられます。体感温度は個人で差があるので、個別での対策も良いですね。さて、夏に恐いのが熱中症。そこで昨年良いと噂を聞いて現場で導入したのが「塩あめ」(写真3)です。これは暑い中で知らないうちに失いがちな塩分を簡単に補えるというもの。味は、業務用よりも一般用のほうが良いようです。そしてこの夏から導入予定なのが「モバイル熱中症計」(写真4)。これは気温と湿度を測って、熱中症の危険度をブザーで知らせるので、熱中症になる前に早めに手を打つには効果的とみています。この他にも、皆様の現場や事務所で猛暑・熱中症対策をされている方はアイデアを教えてください。

編集後記



梶本亜希
(かじもと・あき)

夏といえば子どものころは海や山へいくのがとても楽しみでした。今回のエコキッズのコーナーでは自然公園でのパークレンジャー体験をご紹介しましたが、この他にもたくさんのキッズイベントがありました。大人の方でも、最近では旅行会社のエコツアーや地域の自然観察が充実しているようですね。私も一度、エコツアーに参加してみようかな?と思っています☆

お知らせ

省エネ・省資源化にともない、私たちはフェコニュースを、メールによるPDF版にて配布しております。ご賛同頂ける方は、アンケート用紙にメールアドレスをご記入下さい。次回よりメールでお送りいたします。ご協力の程、宜しくお願い致します。



発行元:株式会社フクナガエンジニアリング
〒536-0014
大阪府大阪市城東区鳴野西5-13-30
TEL.06-6969-3647(代)
FAX.06-6969-3633
E-mail feconews@ecosoft.co.jp



<http://www.ecosoft.co.jp>

- 本誌はクリオネマーク ゴールドプラス基準に適合した地球にやさしい印刷方法で作成されています。
- 地球環境保全のため、石油系溶剤を含まないVOC成分ゼロの大豆インキを使用しました。

お客様ECOじまん

フクナガのお客様に自社のECOじまんを披露していただきます!

今回のお客様

ヨドプレ株式会社



兵庫県加西市田原町宮ノ谷3179-3
TEL 0790-49-1511
URL <http://www.yodop.jp/>

Q 御社のお仕事はどんな内容ですか?

A 木造住宅に使用する主要な構造材を機械で加工する「プレカット加工」を中心に、住宅資材全般の販売、建築基準法に対応した各種設計サポートや申請業務サポートなども行っております。



プレカット加工した構造材。木造住宅を支えています

Q フクナガの製品を導入された理由は?

A 検索で偶然ホームページを発見し、内容に好印象を持ちました。その後の電話対応や営業マンの対応も。品質については他社製品に比べて作りがしっかりしていると思います。



酪農家へ出荷されるオガ粉を入れたフクナガのバッグ

ヨドプレ株式会社のココがECOじまん!

今まで木材加工で出る大量のオガ粉は全て焼却処分していましたが、これをバッグに取り出して、酪農家へ出荷。オガ粉は牛の排泄物の吸収に使用され、その後1年かけて完熟堆肥となり、肥料として農家の方が使用されます。皆が喜ぶ究極のエコサイクルです。



エコ川柳 今号のテーマ…『ECOカッコいい話』

エコを詠み、エコで笑う「エコ川柳」。さて、今号の特選は?

今月の佳作
君が好ま
り
コ
ミ
を
わ
け
て
ろ
シ
リ
げ
な
く

★寸評…分別する姿、それが「さりげない」ところがECOカッコよくて、恋に落ちる瞬間ですね。君が好き!と宣言するところが共感です。

恒川紀保さん(愛知県名古屋市)

今月の佳作
E
C
O
活
動
!!
え
え
猪
好
し
ば
い
で
地
道
に

★寸評…ECOは一日にしてならず…ええ猪好だけでは活動は続きません!教訓の意味が深い、この川柳を胸にECO活動しましょう。

木村政雄さん(愛知県豊橋市)

今月の特選
自
鼻
ピ
ア
ス
茶
髪
の
君
の
マ
イ
バ
ッグ

石原晴美さん(福岡県福岡市)
★寸評…やんちゃなイメージがある彼の手にはマイバッグ。「レジ袋いりません」とも言っているそのギャップが、間違いなくECOカッコいい!ですね。

次号テーマは「ゴミ」。応募お待ちしております!

毎号のテーマにあわせて、あなたの「エコ川柳」をご応募下さい。見事に特選となられた方には、全国百貨店共通商品券1万円分をプレゼント!会社の備品購入等に活用してください。

- 宛先…フェコニュース編集部「エコ川柳」係
- 応募要綱…毎号のテーマに合わせた「エコ川柳」を、本誌に同封しているアンケートの記入欄に記入し、FAXまたはメールでお送り下さい。

応募先FAX 06-6969-3633 必切 2009年8月31日(月)